

鹽竈十番

発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一号
 志波彦神社
 鹽竈神社 社務所
 電話 〇二二三六七一六一(代)
 FAX 〇二二三六五〇五五三〇
<http://www.shiogamajinja.jp/>



鹽竈みなと祭
 (七月十八日「海の日」斎行)

サミット首脳の伊勢参拝



五月二十六日、サミット参加各国首脳がそろって伊勢の神宮に参拝された。

ホスト役の安倍総理は、内宮前の鳥居にて各国首脳を順に出迎え、最後に到着の米国オバマ大統領とは並んで宇治橋を渡り神域へと参入したのだった。

思い出されるのは、平成十四年二月明治神宮に参拝したブッシュ大統領のことである。

当時、小泉総理が同行しての参拝だろうと思われるが、その姿はなく、明治神宮の鳥居の外に停めた車中にて待機していたという。しかし、神宮境内で参拝の後に行われた流鏝馬を大統領の隣で観覧しているのだ。当時と今回では、参拝に至る経緯や政治的背景も大きく異なっている。だとしても、大統領の参拝に同行しなかったことは、非礼と責められてしかるべきだった。今回、ブッシュ参拝の対応を参考にして、伊勢参拝が報道されることはなかったようだ。とともに、政教分離の原則に反するなどといった批判もなかった、何故だろうか。サミット参加首脳に、日本精神の根底を感じてもらいたいとして考えられた伊勢の神宮参拝。案内役として当然のことを堂々と言う安倍総理の姿に、批判の芽が生まれる要素はなかった。過去に学び姑息な道を選ばず、断固たる決意があつての行動だったろう。

鹽竈神社例祭 七月十日



を相伝する秘事でした。また例祭奉祝行事として馬場を舞台に行われる「流鏝馬神事」は、今年は例祭と同日午後二時から齋

来る七月十日(日)、鹽竈神社例祭を齋行いたします。

古くは陸奥国司が神事をにない、近世江戸時代には仙台藩主伊達家が大神主として祭祀を司った当社例祭。当日は午前十時より齋行され、式中に特殊神事「御出幣式」が執り行われます。

御出幣式では、別宮・左宮・右宮各御本殿内に奉安されている御神幣を権宮司以下三名が奉戴し、隨身門前まで進みます。まず南面、ついで北面して左右左の順に振り奉る所作を行うことで天地四方を祓い、国家の安泰と国民の平穩を祈るもので、かつては筆頭禰宜の家職のみがその細目



ほかに例祭にあわせ、神賑行事として近隣小・中学生生徒による書道展が絵馬殿にて催されます(十五日まで)。

宮城県無形民俗文化財 藻塩焼神事

- 「藻刈神事」七月四日
- 「水替神事」七月五日
- 「藻塩焼神事」七月六日

右の三日間、市内本町に鎮座する御釜神社において、御祭神・塩土老翁神にゆかりの特殊神事「藻塩焼神事」が齋

行されます。この神事では、海藻を用いて高濃度の塩水(鹹水)を得、これを煮詰めて塩を作る一連の工程を儀式として再現。古代の製塩方法の一端を伝える貴重な神事として、昭和五十四年に宮城県の無形民俗文化財第二十七号に指定されました。神事で調製された



ふるさとイベント大賞 内閣総理大臣賞受賞第一号 塩竈みなと祭

七月十八日 海の日

来る七月十八日(月・海の日)、「やしろと魚のまち」塩竈を挙げての祝祭「塩竈みなと祭」が齋行されます。

ペシャルパレードもあわせて催される予定です。

当日は志波彦・鹽竈御両社の大神輿が市内を巡行ののち、御座船「龍鳳丸」「鳳凰丸」に奉安。日本三景松島湾を舞台に大小百隻からなる供奉船団を従えて壮大な海上絵巻を繰り広げます。



曲木神社例祭 八月一日

八月一日(月)、市内新浜町籬島に鎮座する末社・曲木神社の例祭が齋行されます。

籬島は、国の名勝「おくのほそ道の風景地」の一つに指定される塩竈の景勝地。前日夕刻には前夜祭が行われ、各種催しが出店とともに島の対岸を賑わします。

わが背子を都に遣りて塩竈のまがきの島のまつぞ志しき
 ～古今和歌集～

明治天皇東北巡幸百四十年 記念特集 祝日「海の日」施行二十年

今年(平成28年)に祝日「海の日」(七月第三月曜日)が施行されてから二十年の節目となります。制定当初の七月二十日は、百四十年前の明治九年に行われた、明治天皇の北海道・東北巡幸にちなむものです。

まもなく、それぞれの佳節を迎えるにあたり、明治天皇の御聖跡をたどります。

明治天皇の地方巡幸

明治天皇はその治世中、計六回の地方巡幸を行われました。明治五年の九州・西国巡幸(第一回)、明治九年の東北・北海道巡幸(第二回)、明治十一年の北陸・東海道巡幸(第三回)、明治十三年の甲州・東山道巡幸(第四回)、明治十四年の山形・秋田・北海道巡幸(第五回)、明治十八年の山口・広島・岡山巡幸(第六回)がそれです。

幕藩体制が終焉を向かえ、近代的な中央集権国家の建設を推進していた当時、聖上みずから地方の現状をつぶさにご覧になられ、多くの国民もまた国の中心たる天皇の御存

在を実感したことでしょう。

東北・北海道巡幸 鹽竈神社を御親拝

東北地方および北海道を巡幸された第二回巡幸は、明治九年(一八七六)六月二日から翌七月二十一日までの五十日間(にわたりました(地図参照))。



<東北・北海道巡幸行程図>

皇居不在の間の政務を太政大臣・三条実美に委ねた明治天皇は、東京を御出発後、約二百三十名の随行を従えて陸路北上し、各県庁をはじめ工業生産施設や著名寺社に臨御。六月二十八日には御座船にて松島湾内を渡られ塩竈にお着きになっています。旧別当「法蓮寺の書院「勝画楼」を在所と逗留になったその夜は、塩竈の町民が方々に火を灯し、海上に数多くの灯籠を流して御行在を奉祝したと記録は伝えています。

翌二十九日、明治天皇は在所より板輿にてお立ちになり、志波彦神社鹽竈神社を御親拝。落合直亮宮司をはじめ神職一同が御奉迎するなか、勅使・高崎正風侍従番長をもって宣命ならびに幣帛料・神饌料を賜り、陳列された伝来の什宝・文物をご覧になられて

います。 函館まで臨幸の途を進められた御一行は、御召し船「明治丸」にて帰路につかれまし。七月十八日に函館港をお立ちになり、金華山沖を経て船足三日を費やし、二十日に横浜港に御着船。翌日皇居へ還幸になりました。

祝日「海の日」制定

明治丸は、英国グラスゴウの造船所で建造された当時最新鋭の汽船で、平時は灯台巡視船として活躍し、近代日本海事に足跡を残しました。

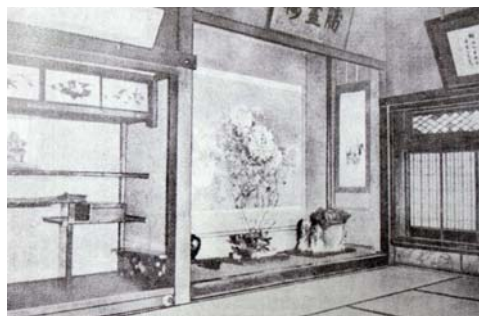
平成七年、明治天皇がこの明治丸で横浜港にお着きになられた七月二十日が「海の日」として制定され、翌年施行されました(平成十五年より七月第三月曜日)。祝日法には「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことが趣旨と謳われています。

明治二十九年に退役した明治丸は、商船学校(現在の東京海洋大



明治丸

学)に譲渡されたのちも、昭和二十九年まで係留練習船として活用されました。昭和五十三年には、わが国に現存する唯一の鉄船として重要文化財に指定。現在、東京海洋大学の越中島キャンパスにて見学することができます。



玉座となった勝画楼の一室

神武天皇 二千六百年式年祭遙拝

初代人皇・神武天皇の崩御より二千六百年となった本年



四月三日、神武天皇の陵墓である畷傍山東北陵（奈良県橿原市）と皇居内の皇霊殿において「神武天皇二千六百年式年祭」が斎行されました。

同日、当社では遙拝式を斎行。二百二段の表坂上に注連縄をはり式場を設け、遙拝詞を奏上し玉串を捧げ、はるか橿原の地に向かい拝礼しました。

氏子崇敬会 春季大祭斎行

五月八日、氏子崇敬会春季大祭が鹽竈神社左右宮において斎行されました。

当日は、鈴木雄一会長以下約三百名の崇敬会員が参列。祭典後、新世話人への委嘱状交付につき、左記の方々へ永年継続会員表彰が行われました。

参列者には、会報『崇敬会たより』第二十三号と色紙を配布。今年の色紙の言葉は「蘇れ日本」でした。

平成二十八年度継続表彰者
(敬称略)

◇三十年表彰

〈東部〉 鹿又 剛
港三・四

〈南部〉 渡辺 多喜子
南町

◇十年表彰

〈東部〉 野村 竹市
特別区

〈南部〉 鈴木 和郎
野田一

海岸通一
自由民主党

宮城県第四選挙区支部
(伊藤信太郎支部長)

〈北部〉 鈴木 孝三
特別区

藤倉親交会 菅原 節子
新浜町一 山内 英房

鹽竈会 会員神社紹介



全国には鹽竈の社名を冠し、御祭神や御神縁を同じくするお社が百数十社あります。当社に本部を置く「鹽竈会」はそれらの神社の連絡・交流を図り大神様を景仰すべく平成四年に設立されました。今回は、福島県石川郡に鎮座する鹽竈神社を御紹介します。

鹽竈神社

(吉田英高宮司)

鎮座地 福島県石川郡石川町
御祭神 塩土翁神
由緒

当鹽竈神社は、延喜式内名



宮城県塩竈市
志波彦神社
鹽竈神社

福島県石川郡
鹽竈神社

神大社・石都々古和氣神社のほど近くに鎮座。康平五年(一〇六二)に藤田城の城主石川有光が宮城県塩竈市の鹽竈神社を勧請したものです。以来歴代の城主から崇敬が寄せられました。

数々の靈石で知られる石都々古和氣神社の境外末社とされ、本社と地盤を同じくするこの鹽竈神社の境内にも巨石が点在し、磐座と伝えられています。

また境内に繁茂するアカガシの樹叢は、分布域の北限として植物学上貴重視されており、平成二十一年六月には石川町天然記念物の指定を受けました。

銅板奉納者芳名

三月 兵庫県 大洋産業(株)
ほか一〇五名

四月 埼玉県 小沼 義久
ほか一七六名

五月 山形県 伊藤 佳子
ほか二七名

(敬称略)

特別寄稿 父の背中



参議院議員
比例代表（全国区）
山谷 えり子

今年の十一月二十八日、亡き父 山谷親平の三十三回忌を迎える。

七月に改選期を迎えるため、例年以上に全国を休みなく飛びまわっているが、今でも「お父さんのラジオを毎朝聴いていた」、親平さんの『絶望は愚か者の結論なり』の言葉で、人生をやり直すことができたなど、たくさんのお声をかけていただく。

中には、加藤隼戦隊で父と共に戦った方との出合いや、家族も保存していなかったラジオのテープをダビングしたものをお送りくださる方もいる。

たことがあった。

「ひっぱたかれても屁とも思わない強靱さ、ピンチを平気で切り抜けていく男。ピンチになっても怖がらない。やせガマン。これが『男の魅力』」「『男の人生』：人生は挑戦した目標に向かって継続すること。続けばベテランという味になる。自分をコントロールしながら、一つの目標めがけて努力をしてやめない。」
女の魅力、女の人生にも通じるものだと、一人のリスナーとして聴くこともある。

先日、新聞の読者欄を読んでいたら、栃木県の七十五才の男性が主張欄を読んで故山谷親平さんを思い出したという記事を目にした。「山谷さんは二十年間、ニッポン放送でラジオパーソナリティーを務めた産経新聞政治部記OBですが、朝の番組で日本人をよ

く叱り、われわれは『そうだ！』と共感したものだ」という内容のものであった。歯に衣させぬ父の語り口に、

当時の私はハラハラすることもあったが、三十年以上を超えてなお、父のことを思い出してくれている方々がこんなにもいてくれることは父にとって最高のプレゼントであろう。

小学校低学年の頃、父に連れられレストランに行った時、将来の夢を聞かれ「新聞記者」と答えた私に「いいねえ。えりちゃんそのナイフとフォークの使い方なら、将来新聞記者になってアメリカの大統領と記者会見したあと、ハワイトハウスにディナーに呼ばれても大丈夫だよ」と言った父。この言葉で「人生って、けっこう面白いみたいだ。人生やりたければ、いろんなことがやれるんだ」と強烈な光と解放感に包まれた。私にとって

転機となる一言でもあった。三児の母となり、編集長となり、国会議員となり、大臣という重責にもつかせてもらったが、六十二才で逝った父の年齢を超えても、未だ父の背中をこえることはできない。

一ツ目弁天会 平曲奉納



四月十日、桜の咲き誇る境内に平曲「那須与一」「小督」「敦盛最期」ほか一曲が奉納演奏されました。

奉納したのは平曲一ツ目弁天会（荒井今日子代表）。鎌倉時代から続く平曲の伝承と普及のため広く活動を行っています。

〈山谷えり子氏のプロフィール〉

昭和二十五年東京都生まれ。聖心女子大学を卒業後、出版社勤務を経て、特派記者として渡米ののち『サンケイリビング新聞』編集長など報道の一線で活動した。

平成十二年衆議院議員に初当選し、政界に身を転じる。十六年には参議院議員（比例区）に自由民主党から立候補し当選。小泉内閣・安倍内閣（第一次・福田内閣）で政権の要職を歴任する。

二十二年参議院議員選挙（比例区）に当選（二期目）。二十六年の第二次安倍晋三内閣の発足にもない初入閣を果たし拉致問題担当大臣ほかに就任した。

奉納曲のうち「小督」は、平安時代末期の女性にまつわる美しくも悲しい恋物語です。高倉天皇の寵愛をうけ召された小督局のもとに、かつての愛人・冷泉隆房が詠んだ一首の和歌が届きます。

思ひかね心は空に陸奥のちかの塩釜近きかひなし
はるか遠くの陸奥国にある名所「千賀の浦（塩竈）」と、近くにいなながらも遠い小督をかけた恋の歌です。
塩竈とも縁ある歌曲と平家琵琶の演奏に、多くの参拝者が足をとめ聞き入っています。

ご結婚
おめでどう
ごさいます

三月

| | |
|------|--------|
| 大崎市 | 大場 耕太郎 |
| 加美郡 | 鈴木 敦子 |
| 東京都 | 本田 友輔 |
| 多賀城市 | 猪野 愛美 |
| 神奈川県 | 田中 裕貴 |
| 仙台市 | 山内 みどり |
| 北海道 | 浜田 和也 |
| 仙台市 | 山口 美友紀 |

四月

| | |
|-----|--------|
| 石巻市 | 大橋 健太 |
| 石巻市 | 遠藤 知恵 |
| 岩沼市 | 大村 達也 |
| 亶理郡 | 佐々木 夏美 |
| 仙台市 | 豊嶋 茂一 |
| 仙台市 | 小林 正美 |
| 宮城県 | 里見 成宣 |
| 仙台市 | 齋藤 ちぐさ |

しおがまさま御神前で夫婦の契り
神前結婚式のご案内

当社では左記の内容にて神前結婚式を承っております。
// 奥州「一宮」鹽竈神社の御神前にて、古式ゆかしく清らかな結婚式を挙げ、お二人の門出をお祝いしませんか？

《鶴式》

- ・神楽「浦安の舞」奉奏
- ・記念品

神札、お守り、御神木製の表札、浪曲「高砂」の



《松式》

- ・神楽「一森の舞」奉奏
- ・記念品

神札、お守り、御神木の表札、浪曲「高砂」の記念絵馬、瀬戸盃、誓詞

※いずれの式中にも神職による雅楽の奏楽を奉仕します。



| | |
|-----|--------|
| 仙台市 | 高橋 修平 |
| 福島県 | 上野 綾子 |
| 大崎市 | 佐々木 翔太 |
| 仙台市 | 半澤 瑛子 |

| | |
|------|--------|
| 多賀城市 | 渡辺 公哉 |
| 岩手県 | 中村 ひとみ |

| | |
|------|-------|
| 中華民国 | 蘇 庭漢 |
| 栗原市 | 佐々木 友 |

| | |
|-----|-------|
| 宮城県 | 佐藤 大悟 |
| 宮城県 | 平山 愛美 |

| | |
|-----|-------|
| 長崎県 | 的山 高之 |
| 仙台市 | 伊藤 沙綾 |

| | |
|-----|-------|
| 塩竈市 | 牧野 忠士 |
| 石巻市 | 千葉 静華 |

| | |
|-----|-------|
| 北海道 | 梅津 寛政 |
| 仙台市 | 阿部 由香 |

| | |
|-----|-------|
| 岩手県 | 千葉 玲 |
| 仙台市 | 三浦 栄美 |

| | |
|------|-------------|
| タイ王国 | サッパシー・アナワット |
| 登米市 | 猪又 えり子 |

| | |
|-----|-------|
| 塩竈市 | 大元 直樹 |
| 仙台市 | 光森 陽子 |

| | |
|-----|-------|
| 仙台市 | 小畑 旭 |
| 宮城県 | 池田 裕子 |

| | |
|-----|-------|
| 埼玉県 | 倉持 友喜 |
| 仙台市 | 千葉 礼美 |

| | |
|-----|--------|
| 仙台市 | 堤 亮 |
| 仙台市 | 伊藤 ありさ |
| 仙台市 | 菅原 純 |
| 仙台市 | 遠藤 寛子 |

| | |
|-----|-------|
| 白石市 | 渡邊 晴樹 |
| 塩竈市 | 鈴木 麻美 |

| | |
|------|--------|
| 多賀城市 | 庄司 高志 |
| 多賀城市 | 佐藤 麻衣子 |

| | |
|----------|------------|
| ポルトガル共和国 | デービット・ポネット |
| 宮城県 | 小野 菜々子 |

| | |
|-----|-------|
| 仙台市 | 遊佐 彰大 |
| 兵庫県 | 田代 彩子 |

| | |
|-----|--------|
| 黒川郡 | 岩住 康生 |
| 岩手県 | 中村 なつみ |

| | |
|-----|-------|
| 仙台市 | 高倉 史也 |
| 仙台市 | 北村 仁美 |

| | |
|-----|--------|
| 大崎市 | 遊佐 伊緒 |
| 遠田郡 | 鈴木 美智子 |

| | |
|-----|-------|
| 加美郡 | 小岩 清高 |
| 仙台市 | 高橋 敬子 |

| | |
|-----|-------|
| 塩竈市 | 高橋 佑希 |
| 宮城県 | 佐藤 悠 |

| | |
|-----|------|
| 五月 | |
| 柴田郡 | 小室 健 |
| 宮城県 | 久保 怜 |

| | |
|-----|--------|
| 岩手県 | 遠藤 大介 |
| 仙台市 | 梅田 淳子 |
| 秋田県 | 小山内 洸介 |
| 宮城県 | 清野 愛 |

| | |
|-----|-------|
| 東京都 | 本山 智章 |
| 登米市 | 羽生 彩 |

| | |
|-----|--------|
| 宮城県 | 川村 倫弘 |
| 青森県 | 釜谷 美重子 |

| | |
|-----|-------|
| 青森県 | 今 浩行 |
| 塩竈市 | 吉木 香織 |

| | |
|-----|-------|
| 塩竈市 | 千葉 瑛夫 |
| 仙台市 | 今野 恵子 |

| | |
|------|--------|
| 東松島市 | 木皿 駿 |
| 東松島市 | 松本 由加理 |

| | |
|------|-------|
| 神奈川県 | 三井 武尊 |
| 仙台市 | 大沼 郁美 |

| | |
|-----|--------|
| 青森県 | 秋元 孝之 |
| 仙台市 | 五十嵐 順子 |

| | |
|-----|-------|
| 仙台市 | 阿部 優樹 |
| 青森県 | 山内 寛子 |

| | |
|-----|-------|
| 北海道 | 佐藤 岳 |
| 仙台市 | 本郷 珠美 |

| | |
|------|--------|
| 多賀城市 | 郷古 龍哉 |
| 山形県 | 佐藤 美野花 |

| | |
|-----|-------|
| 仙台市 | 濱野 雄一 |
| 茨城県 | 山崎 綾子 |

(以上四十八組・敬称略)

東北式内社顕彰会 巡拝会を実施

当社内に本部を置く東北式内社顕彰会は三月二十三日、二十四日、福島県会津方面の式内社巡拝会を実施しました。参加者十四名。

一行は伊佐須美神社（沼澤文彦宮司代務者・蚕養国神社（深谷義彦宮司）を正式参拝したほか、近世の宿場町の面影をのこす大内宿（重要伝統的建造物群保存地区）を散策。

九州大地震 御社頭にて義捐金を募る

四月十四日より熊本県を中心として発生した一連の大地震。気象庁は「平成二十八年熊本地震」と命名。地震の最大規模はマグニチュード七・三、余震は一六〇〇回以上を数え、現地は余震に脅かされながら復旧・復興が進められています。当社でも四月十八



日より御社頭にて参拝者からの義捐金の受付を開始。六月初旬までに寄せられた浄財二百万円を、第一次送金分として神社庁を通じお納めしました。

講話を聴講

また旅中、福島県立博物館をおとずれ、同館学芸員であり式内社・御刀神社宮司を務める森幸彦氏（日本考古学）の講話「神社と震災復興」式内社御刀神社のこれから」を聴講しました。

森講師からは御刀神社の津波被害や、兼務社の植樹祭、日本財団の助成による社殿再建の経緯の説明があったほか、『書紀』に記載される「会津」の地名発祥伝承と、古墳時代の発掘成果の符号点について解説がありました。

同会は式内社宮司を中心に構成され、近年は一般の歴史愛好家の参加も増えています。今回一夜の宿りとした東山温泉では、会員間で交流が深められました。



養蚕国神社にて記念写真

養成所通信

四月七日、神職養成所の入所式が行われ、新たに一名の若者が神職を志すべく、門を潜りました。

神前にて入所の旨を奉告したのち、大講堂にて式典を挙行。所長の訓辞や来賓の方々からの激励のお言葉を頂戴し、新たな一歩を踏み出しました。

○新入生

〔普通課程Ⅱ類一年〕
山中 里帆（福島県）

参拝記録

三月～五月にかけて、当社を正式参拝された方々を左記に御紹介いたします。（敬称略）

三月

- 五日 仙台千人講話人会 及川勇講長
- 七日 出羽三山神社氏子会 大川武氏 ほか七名
- 二十二日 大徳寺昭輝氏 ほか二十七名
- 二十六日 大石光氏 ほか九名
- 三十日 日本航空(株)東北支店 菅見昭夫支店長
全日本空輸(株)仙台支店 岸田洋支店長
(株)近畿日本ツーリスト東北 野崎佳政代表取締役社長

四月

- 十日 平曲一ツ目弁天会 荒井今日子代表 ほか三名
- 十五日 國學院大學総合企画部 山口耕司次長
- 三十日 香川県・坂出鹽竈神社 井上耕治責任役員

五月

- 十二日 クラブツーリズム(株) 「二の宮巡拝ツアー」 二十九名
- 十八日 長野市長 加藤久雄氏 ほか五名
- 二十三日 愛知県・鹽竈神社 馬場克博宮司 ほか総代七名
- 二十四日 東京都・大島神社 清水雄介宮司 ほか氏子・総代二十名
- 三十日 群馬県・伊香保神社 総代十三名

国家安泰 五穀豊穰 家内安全

祭事暦 (七月から九月まで)

毎月

一日 朔 日 祭
 一日 曲木神社月次祭
 六日 御釜神社月次祭
 十日 鹽竈神社月次祭
 二十九日 志波彦神社月次祭

七月
 四日 藻 刈 神 事
 五日 水 替 神 事
 六日 藻 塩 焼 神 事
 七日 御釜神社例祭
 十日 牛石藤鞭社例祭
 十八日 流 竈 神 社 祭
 十八日 流 竈 神 社 祭
 十八日 流 竈 神 社 祭

八月
 一日 曲木神社例祭

九月
 二十九日 志波彦神社遷座記念祭
 並に氏子崇敬会秋季大祭

安産祈願 海上安全 大漁満足

講社だより

四月から五月にかけて、各地の鹽竈講社祭が多くの講員参列のもと齋行され、それぞれ永年継続講員に対し表彰がなされましたので、御芳名を紹介いたします。(敬称略)

◆十年表彰
 安齋 博雄・大野 富美子
 佐浦 愛子・遠藤 敏夫
 浅野 かつ枝・佐藤 ふみ子
 庄子 勝子・錦織 貴裕
 渡辺 博・杉本 訓子
 松崎 修

仙台千人講大祭

四月十七日、桜の咲き誇る境内を及川勇講長以下四十五名が参列され、盛大に齋行されました。

◆三十年表彰
 佐藤 ヨネ
 ◆二十年表彰
 高橋 力
 菅原 大和

釜石市色川講社

岩手県釜石市の色川講社は本年、左記の方が継続講員表彰の対象となり、講社担当者が釜石を訪問のうえ表彰致しました。

◆十年表彰
 菅原 大和

釜石講社祭

花まつりと同日の四月二十三日、津田緋沙子講長以下三十六名が参列のうえ齋行。

◆四十年表彰
 石田 めい子
 ◆二十年表彰
 羽賀 昭江
 ◆十年表彰
 下坂 昌志

新潟亀田講社祭

亀田講社は五月二十二日、遠路新潟県から熊倉清弘講長以下二十七名の講員が参列され齋行。なお同講社は本年、創立から六十年を迎えることから、講に対して感謝状が贈呈されました。

◆六十年表彰
 熊倉 清弘
 ◆十年表彰
 小野間 久

文芸欄

休田や女系家族の葱の花
 救急車の通る集落柿の花
 賜りし結び目揃ふ粽かな
 老人になりきれず居り合歡の花
 衿あしを刺られてをりし目借時
 山法師少し増えたる骨密度
 粽解く妣の癖字の農事メモ
 天空の城や山藤雲に入る
 片栗の花の径ゆく傘を杖
 山野濃き五月夜明けの貨車短

佐藤 みね
 渡辺 智賀
 辻田 よし子
 横田 みち子
 佐花 千代子
 大友 セツノ
 佐々木 和子
 神野 礼モン
 太田 サチコ
 山田 桃晃

人事異動

新任(五月一日付)

巫女 匂坂 柚月
 " 伊藤 紗也佳
 " 佐藤 咲綾
 社務員 伊藤 道則
 退職(四月三十日付)
 調理員 伊勢 忠弘

※翌日付で臨時囑託

奉納御礼

資材置場倉庫(南室)
 出入口カーテン一式
 仙台市宮城野区
 (有)庄子 代表取締役
 庄子 明彦 殿

資材置場倉庫(北室)
 出入口カーテン一式
 多賀城市中央
 東洋キャンパス 代表
 鈴木 正視 殿

右これまで吹き放ちであった資材置場倉庫の入り口に、御篤志により蛇腹式のカーテンを奉納ならびに設置施工いただきました。

赤雲

四月の熊本大地震から三ヶ月半。犠牲になられた人々の御冥福を祈り致しますとともに、被災された方々へ衷心からお見舞いを申し上げます。当社御社頭の募金受付に協力される参拝者の姿を見るたび、東日本大震災での「絆」と重なるものを覚えます。

(岳)